

千葉地裁を包囲・弾劾しよう！

本日の裁判は、弁護団がねばり強く追及してきた結果、補佐人として元立教大教授の石原健二さんが農業問題で、専修大学教授の内藤光博さんが憲法問題で意見を表明する。そして次回9月27日が、いよいよ最終弁論（結審）となった。

千葉地裁を包囲・弾劾する戦闘的デモに打ってでよう。傍聴席を埋めつくし、法廷内外を貫いて、強制執行に対する怒りを叩きつけよう。

裁判所と警察が一体となった金属探知器による身体検査や荷物検査などの傍聴妨害を徹底弾劾しよう。

農地死守決戦へ進撃しよう！

7月8日の櫛の木まつりで、市東孝雄さんは「私たち反対同盟は絶対にウソをつかない。正義を貫く」と宣言した。

安倍政府は、ウソとペテンで腐敗を極め、資本家が儲かるような反労働者の政策を次々と打ちだし、改憲と戦争に突撃している。だからこそ反戦・反権力の砦として52年にわたって、「国策」を實力で阻み続けてきた三里塚闘争と反対同盟を解体しようとしている。“生き方を決めたら金じゃない”と農業を生き甲斐に誠実に生きている市東さんの生活と営農を破壊し、天神峰から叩き出そうとしている。強制執行によって、市東さんの生存そのものを抹殺しようとしている。絶対に許さない。

労農水「障」学の総力を天神峰に集中し、市東さんの農地を死守する陣形をうち固めよう。10・14全国集会の成功から農地強奪実力阻止決戦へ進撃しよう。

